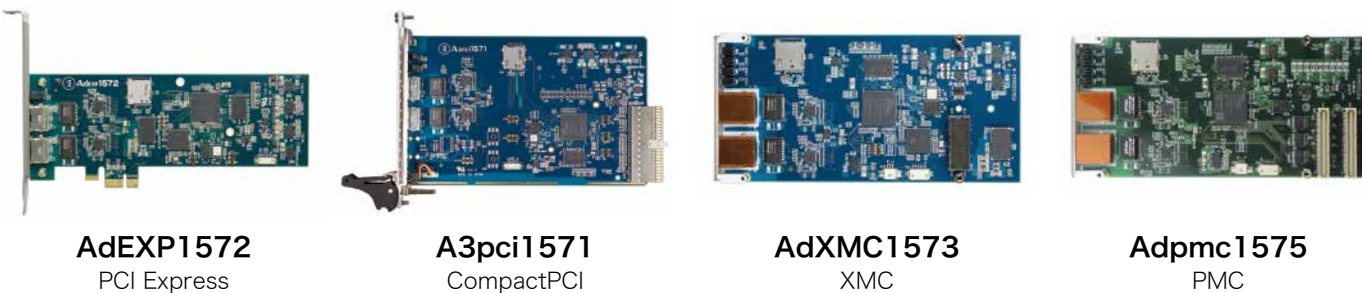


インテリジェントEtherCAT マスターボード

ホスト CPU に負荷をかけない EtherCAT マスター通信



AdEXP1572
PCI Express

A3pci1571
CompactPCI

AdXMC1573
XMC

Adpmc1575
PMC

特長

1 ホストの CPU に負担をかけない EtherCAT 通信

一般的に既存の Ethernet ハードウェアにマスタースタックを実装する事で、EtherCAT 環境を実現できますが、アドバネットではバスマスターであるホスト CPU への負担を考慮し、ARMCortex-A9 を内蔵した Xilinx 製の ZYNQ をボードに搭載する事で、ボード上での EtherCAT マスター通信を可能にしています。

2 ケーブルの冗長性を確保

ケーブル冗長性機能は、EtherCAT システム内の通信ケーブル部分で障害が発生した場合の補償のためリングトポロジーが使用され、そのどこかが破断している場合でもどちらのブランチにも到達できます。

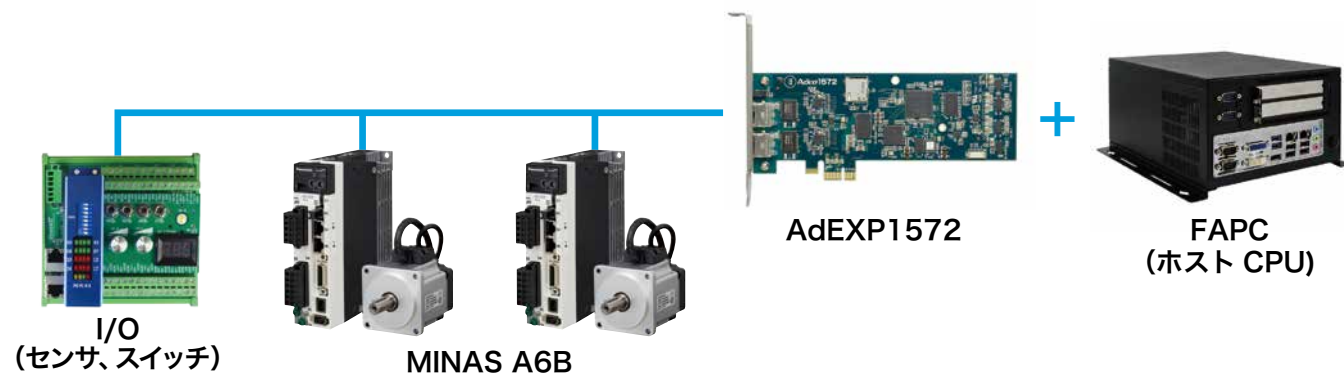
3 突然の交換に！ホットコネクトに対応

EtherCAT システムのプロトコル構造は、ホットコネクト機能によって、ネットワークの各部分のリンクおよび切断または再設定を「オンザフライ」で行い、設定の変更のための柔軟な応答機能を提供します。

4 各種 OS に対応

Windows, Linux, VxWorks など各種 OS 向けデバイスドライバを用意しています。また、カスタマイズでその他の OS も対応可能です。デバイスドライバ作成用ドキュメントを用意していますので、お客様ご自身でデバイスドライバを作成することも可能です。

システム構成



EtherCAT スレーブ

特長

デジタル入出力 (NPN/PNP)

- 下記の組み合わせから選択可能
- 8/16/32/48/96ch
- 入力、出力、入出力



アナログ入出力

- 8ch アナログ入力 (±10 V)
- 8ch アナログ入力 (4 ~ 20 mA)
- 4/6/8ch アナログ出力 (±10 V)



エンコーダ入力

- 4ch エンコーダ入力
- 4ch エンコーダ入力 with DIO



評価キット



ADIO 評価キット



モータ評価キット

- ラインナップ豊富 (I/O 種別, ch 数)
- 各種カスタマイズ可能 (コネクタ種類 etc)

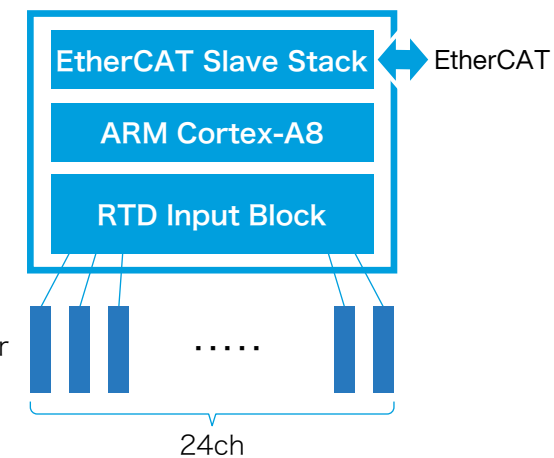
受託開発事例

- 1 台で 24ch の多チャンネルの同時測定可能
- 4 線式 Pt100 および JPt100 を接続可能
- モジュール上で温度換算を実施
- 総合精度 ±0.1 °C での測定が可能 (※測定範囲: -20 °C to 80 °C)

RTDモジュール搭載
EtherCAT Slaveモジュール
E-070



AdiNS1576
EtherCAT
Slave board



販売エリア

- 日本

対応言語

- Japanese

仕様など詳しくは

URL : <https://www.advantec.co.jp/ethercat/>



●お問い合わせ先: 株式会社アドバネット

〒700-0951 岡山市北区田中 616-4

TEL: 086-245-2861